

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知る区ロード			整理番号	538		枝番号		
担当部課名		都市整備部 まちづくり推進課		コード	220303		連絡先電話番号	3515		
係名		景観係		上位施策名		No				
予算事業名		杉並「知る区ロード」		コード	52500		住民参加のまちづくり		3	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			62 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			(1) 杉並区まちづくり基本方針						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(2)						
	区民等			(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 歩いて杉並を知る「知る区ロード」というルート上の目印(道標)やルート沿いの休憩所(オアシス)を維持管理・整備する。「知る区ロード」を活用したイベントを開催し、まちについてのマガジンを発行する。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 自由に楽しく歩きながら、自分の住むまちや、まちの資源を知り、親しみを持ってもらうようにする。						
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 知る区ロード探検隊参加者数			(1)							
(2) すぎまるマガジン発行部数			(2)							
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	1,908	1,889	2,000	1,024	2,000			
	活動指標(2)	部	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,541	4,783	8,016	7,025	6,315	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円			1,500	1,281			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70	0.73	1.09	0.70	0.90		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,296	6,566	9,803	6,296	8,095		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	12,837	11,349	17,819	13,321	14,410		
	単位あたりコスト ÷		円	6,728	6,008	8,910	13,009	7,205		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引: 一般財源 -		千円	12,837	11,349	17,819	13,321	14,410			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	51.2		活動指標(2)の15年度達成率%	100.0		15年度予算執行率%	87.6	
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		知る区ロードのイベント時に、アンケート調査を行い、参加者の意見を把握した。また、知る区ロードの見直しを検討するために、課内PTを立上げ、今後の方針を決めた。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始当初の知る区ロード探検隊員数は、約4,000人。その後、最高時は約10,000人であったが、最近は減少している。また、当初の目的が薄れ、カードゲーム・グッズ集めに走ってしまっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	知る区ロードのイベントを楽しみにしている声がある一方、規模を減少したこと、マンネリ化に対する苦情が多い。また、すぎまるマガジンの企画・内容等についても質が落ちたとの指摘がある。
	今後の予測	知る区ロードの当初の目的に立ち返り、まち歩きの結果としての区民からの提案・疑問を具体的なまちづくりに生かしていける事業とするために、区民との協働により実施していくことを目標とする。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由) ▼	理由: 知る区ロード事業自体がストレートにまちづくりに結びつくわけではないが、杉並独自のソフトなまちづくりとして全国的に知名度が高い。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(へ) ▼	理由: 施設等を利用したイベントなどの諸活動は、区民の主体的な活動に委ねることが望ましい。しかし、施設等の維持管理・改修は、区が行う必要がある。
	協働等は実現しているか 一部実現している(へ) ▼	理由または具体的内容: イベント内容の提案・実施を区民との協働で行っているが、補助止まりで主体的までには至っていない。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(へ) ▼	
	協働等の主な形態 実行委員会・協議会(具体的内容) ▼	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() ▼	理由または具体的内容: 小学生とその家族が主な対象になっているが、周知の仕方・イベント内容によってはより幅広い世代の参加が見込める。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) ▼	理由または具体的内容:休憩所(オアシス)等の施設維持管理は区が行う。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 区民との協働でイベントを運営したり、すぎまるマガジンの発行を見直すことで、コストを下げるのが可能である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 知る区ロード探検隊開始から20年目にあたる平成19年までに、今後のあり方を区民を交えて検討し、最終的には、区民主体でイベントを運営し、区が支援していくことを目標とする。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 長年、多くの人が参加しているので、大幅な見直し(廃止等)は、参加者の理解が必要である。また、イベントの企画運営に関わる区民(すぎまるサポーター)が主体的に運営参加できるように、サポーターを育成する。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		まちづくり活動支援				整理番号	542		枝番号		
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		コード	220300	連絡先電話番号	3514		昨年度整理番号		
係名 管理係				上位施策名				No			
予算事業名		まちづくり施策の推進		コード	52700	住民参加のまちづくり					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区まちづくり条例						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区街づくり支援要綱						
	区内において自主的にまちづくり活動を行おうとする区民等の団体				(3) 杉並区まちづくり協議会運営費助成金交付要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） まちづくり条例に基づき、以下の3制度により、地域での街づくり活動を支援する。街づくり活動助成制度=自主的な街づくり活動を行う団体へ活動経費の一部を助成 街づくりコンサルタント派遣制度=街づくりの専門家の派遣 まちづくり協議会運営費助成制度=認定された協議会へ運営費の一部を助成。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 街づくりの気運の醸成を図りながら、地域の活性化及び住環境の向上を図る。地域住民によるまちづくりルールの作成など積極的に街づくり制度を活用することができる団体を育成する。						
活動指標名(式) (1) 活動助成団体数 (2) コンサルタント派遣件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		15年度			
指標	活動指標(1)		団体	12	15	15	13	15	15	86.7	
	活動指標(2)		件	8	5	25	21	30	25	84.0	
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,462	1,219	2,893	2,070	3,236	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動助成・コンサルタント派遣については、11年度まで「まちづくり公社」で実施。公社解散後、平成12年から区で実施。平成15年度「まちづくり条例」施行。新たに、協議会助成を加え、活動助成・コンサルタント派遣の3つの制度が条例に基づく支援として位置付けられた。		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,195	7,195	7,195	7,195	7,195			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	8,657	8,414	10,088	9,265	10,431			
	単位あたりコスト ÷		円	721,417	560,933	672,533	712,692	695,400			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引: 一般財源 -		千円	8,657	8,414	10,088	9,265	10,431				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	86.7	活動指標(2)の15年度達成率%	84.0	15年度予算執行率%	71.6	指標(1)については16団体からの申請があったが、3団体については公開審査の結果助成対象外となったため。指標(2)については、6団体から派遣申請があったが、年間の派遣上限回数5回を下回る団体があったため。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			評価対象の変更。 * 前年までの「まちづくり団体への助成」、「コンサルタント派遣」及び、新規の「協議会運営費助成」をまちづくり条例に基づく支援制度として「まちづくり活動支援」に統合した。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・活動助成団体数 H12:12 H13:12 H14:15 H15:13 ・コンサルタント派遣回数 H12:6 H13:8 H14:5 H15:21 ・協議会助成団体数 H15:1
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	活動助成については、助成額・助成項目について拡充の要望がある。
	今後の予測	条例の施行により、地域のまちづくりにについて区民の自主的な研究・活動に対する気運は高まりつつあり、条例により認定された協議会を含め、地域における街づくりの活動は増加すると予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 区民の自主的な街づくり活動に対し、まちづくり条例に位置付けられた技術的・経済的支援をすることで、より区民の街づくりへの参画を促進できる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由) ▼	理由: まちづくり条例で定める区の責務として、自主的な街づくりを進める上で必要な支援である。
	協働等は実現しているか ▼	理由または具体的内容:
	協働等の相手 ▼	
	協働等の主な形態 ▼	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() ▼	理由または具体的内容: 支援制度を区民に周知し、より多くの区民に活用してもらえよう、条例についてのPRを行う。
成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容) ▼		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由) ▼	理由または具体的内容: 身近な地域環境の改善・向上を図る目的で行われる区民の自主的な街づくり活動を支援するものであり受益者負担には馴染まない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由) ▼	理由または具体的内容: 街づくり活動は区民・事業者・区の協働のもとに推進される必要がある。とりわけ区民の参画を促進するためには、区によるさまざまな支援が必要である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 まちづくり条例及び支援制度についてパンフレットを作成するなど広く区民に周知し、支援制度のさらなる活用の促進を図り、より多くの区民に身近な地域で区民自身による街づくり活動が実践されるよう支援していく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 活動助成については、「ハード面での街づくり」と「ソフト面でのまちづくり」との整理、他課の助成制度との調整			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由			